

2013年12月議会特集

12.3～12.20

改選後初の定例議会が12月3日から20日まで開かれました。今議会一般質問には27人の議員中25人が発言するなど活発な議会となりました。日本共産党の安井直明、山岡光広、小西喜代次の各議員は、議案提案権を生かして、5件の意見書案を提案。また焦点のTPPに関する請願も出されました。各議案に対する態度は下記の通りですが、日本共産党を除く多くの議員が市民の生命と暮らしを守る立場から国に対して意見をいうことができない態度が浮き彫りになりました。

各会派・無所属	提出	討論 賛成	討論 反対	可否	議員																							
					共産党					清風クラブ					市民クラブ				公明党		無		無					
					安井直明	山岡光広	小西喜代次	服部治男	橋本律子	中西弥兵衛	辻重治	的場計利	橋本恒典	田中実	穴戸俊夫	森田久生	山中善治	林田久充	小河文人	戎脇浩	土山定信	森嶋克己	田中新人	片山修	竹若茂國	白坂萬里子	加藤和孝	田中将之
特定秘密保護法の制定に反対する意見書案	安井直明	山岡、土山、小西	服部、加藤	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽自動車税の課税強化に反対し現行税率の維持を求める意見書案	山岡光広	安井直明	辻重治	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高校授業料無償化の継続を求める意見書案	山岡光広	小西、安井	竹村、的場	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税増税の実施中止を求める意見書案	小西喜代次	安井直明	田中将之	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会保障の再生・拡充への転換を求める意見書案	小西喜代次	山岡、安井	中西、片山	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書案	白坂萬里子	竹村、加藤	小西、山岡	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
企業減税から確実な賃金引上げを求める意見書案	加藤和孝	森田久生	安井直明	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPP交渉からの撤退を求める請願	農民組合	安井直明	小河文人	不採択	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害復旧緊急対策などを盛り込んだ一般会計補正予算案	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
企業の固定資産税を減免する条例制定案	市長	的場計利	安井直明	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

日本共産党の安井直明、山岡光広、小西喜代次の各議員は、市政の問題点を指摘するとともに、要求実現へ質疑・質問で積極的に発言しました。



一般質問・質疑で積極的発言

概要は2面



特定秘密保護法

自民・公明が強行可決

甲賀市議会でも世論に背をむける
国民の目・耳・口をふさぐ希代の悪法「特定秘密保護法」。もともと慎重な審議を「知る権利の侵害」など日毎に広がる世論を無視して、自民・公明の与党が強行可決しましたが、可決後も撤廃を求める運動が急速に広がっています。甲賀市議会では、「制定に反対する意見書」を日本共産党が提案しましたが、何の根拠もないのに「心配することはない」などといって、清風クラブ（自民系）と公明党は、意見書に反対しました。（写真は市役所前での宣伝行動11月7日）

国の悪政に意見を言わずに暮らしが守れるでしょうか
農民組合から「TPP交渉撤退を求める請願」が出されましたが、これまで「TPPに反対」としていた議員も「反対」。公約違反の自民に右へならえ、という感じです。7件の意見書採決でも、日本共産党を除く党派は「消費税増税」「社会保障削減」「高校授業料無償化廃止」推進の立場を明確に。軽自動車税が7800円から1.5倍に引き上げられることに対して「現行税率維持を求める意見書」にも、「反対」。市民の暮らしと地域経済に多大な影響があるのに、政府には意見を言うことができない姿勢が浮き彫りになりました。

信楽高原鐵道の日も早い復旧を

信楽地域区長会らが35,316筆署名添えて市長に要望



台風18号による豪雨で橋脚が流失した信楽高原鐵道。再開に向けてレールの撤去工事が12月16日から始まりました。この日、信楽地域区長会や信楽高原鐵道利用促進協議会地域が、街頭や地域で集めた35,316筆の署名を添えて「一日も早い復旧を、支援を」と中嶋武嗣市長に要望署名を手渡しました（写真）。再開は2014年12月をめざしており、1月20日に臨時議会も開かれます。

日本共産党
甲賀市議団ニュース
2014年 1月10日 第138号



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町助旨
Tel 83-0765
Fax 83-0765

山岡光広・安井直明・小西喜代次議員が一般質問

山岡光広議員



◆台風18号被害の一日も早い復旧と災害に強いまちづくりへ、◆県原発事故影響シミュレーションに対する認識、◆2歳半健診の実施を、◆コメの生産調整「減反廃止」と甲賀市の農業について

問 台風など自然災害による被害を最小限に抑えるために災害に強い福祉のまちづくりが必要。異常気象を想定した防災計画の見直し、災害時に自治会・消防などの情報共有、聴覚障害者のための音声告知端末、被災者に寄り添い査定前着工などの制度有効利用、災害補助対象外への対応、河川の浚渫・改修などを急ぐべき。

危機・安全管理監督官 自治会との情報共有はマニュアル化を、消防団とは無線システムを検討中。防災計画も拡充。総合政策部長 聴覚障害者世帯には一台緊急情報を文字データとして確認できるタブレットを無償で支給する。

産業経済部長 農地農業用施設被害については補助対象外に対しては市独自で資材を無償提供して支援。

建設部長 河川の浚渫など更なる維持補修が必要で県に強く働きかける。

問 遅れている2歳半健診の実施を。健康福祉部長 歯科医・小児科医・内科医の代表らと調整して早期に実施できる体制を整えていきたい。

問 コメの減反廃止による影響は。産業経済部長 現時点では影響を推し量ることができない。

安井直明議員



◆党の市民アンケートをふまえて市民要求実現を、◆市議選での公約「6つの安心」の実現を、◆地域要望について、◆新年度予算編成について

問 獣害対策の更なる強化を図れ。市長 防護柵支援を実施してきた。捕獲頭数増に今後も取り組む。

問 新甲賀病院からの帰りの便などコミバスの改善を図れ。総合政策部長 調整をすすめる。

問 市議選での地域要望実現を。建設部長 県道岩室の歩道は引き続き要望。余野の歩道は先に上野・油日

町に要望。大野の布引交差点、視距改良も県に要望する。市道野佐山線は、用地測量を進めていく。岩上橋は修繕に向け業務委託中、来年度修繕工事に着手。

市民環境部長 前野地先の信号は安全設備が設置された。香野団地のカーブミラーは目視で安全確保ができる。夏場のペットボトル回収は、要望のところに袋を増やした。月2回の回収はしない。

この他に、日本共産党のアンケート結果から「市民の暮らしは一段と苦しくなった」の回答を元に、暮らしや平和について市長の見解を質問。新年度予算の質問に台風18号被害への対応は、すでに補正でしているが、林道の復旧、急傾斜地の工事費、信楽高原鐵道の全体像を把握その上で復旧方向を決定する、と答弁がありました。

小西喜代次議員



◆子どもの医療費無料化拡充、特別養護老人ホーム増設など福祉の充実、◆信楽高原鐵道の早期全面復旧を、◆大戸川・信楽川の早期浚渫・改良を、◆県道大津信楽線道路付替え道路の早期開通を

問 中学校卒業までの通院医療費の完全無料化を。市長 利用状況や財源確保もふまえ、子育て支援の充実を検討する。

問 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて増設を。市長 第6期介護保険事業計画の中で整備の検討を行っていく。

問 国保税一世帯一万円引き下げを。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断する。

問 信楽高原鐵道の早期全面復旧を。市長 災害復旧事業費補助金制度の適用の対象になった。引き続き国・県と財政協議を進め、方向性を出す。

総合政策部長 災害の調査結果は来年1月末までにだす。実施設計業務を進め、全体事業費の早期把握に努める。

問 大戸川・信楽川の早期浚渫を。建設部長 危険性の高い所から実施、計画されている。順次進めるよう県に申し入れている。

問 県道大津信楽線の付け替え道路の早期開通を。建設部長 平成28年度が開通目標。何よりも付け替え道路の早期整備が必要であり、今後も引き続き要望していく。

一般質問には、25名の議員が質問にたちました。山岡光広、安井直明、小西喜代次の各議員（発言順）が、切実な市民の要求実現へ実態調査をもとに迫りました。

新しい議会構成のもとで…活発な議論

議事を終えて 座談会

山岡 新しい議会になって初の定例議会、一般質問が25人というのは驚き…。

小西 議会の活性化という点ではいいこと。

安井 一問一答方式は難しい。傍聴・テレビやネット視聴も含めてわかりやすい質問の仕方は工夫がいる。

小西 一般質問をする議員の多さもさることながら、意見書や議案の賛否にたつ討論も多かった。

山岡 活発なのはいいことだけど、市民のいのちと暮らしを守る立場を貫けるかどうか、ここが肝心。

安井 そういう点では、安倍政権が、特定秘密保護法にしても、消費税や社会保障、TPPの問題にしても、国民から批判を受けても悪政を推進する暴走を繰り返している時、これにストップをかける力が必要。地方政治からも声をあげることが大事なのに…。

山岡 公明党は安倍政権の暴走にブレーキの役割と云っていたが、実際にはアクセルの役割。甲賀市議会での論戦をみても明らかですよ。

小西 そうそう。私も消費税増税と軽減税率の意見書に関して、提案者に質疑したが、推進の姿勢がありあり。

安井 市議選で4議席から3議席に後退した影響は大きい。議会人事でも多数会派がほぼ独占。議会制民主主義が貫かれていない。

小西 市民の要求実現へ引き続き全力で頑張ろう。

山岡 市民の要求実現へ引き続き全力で頑張ろう。